



# 米田のFP通信

ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

## ご挨拶

新しい年を迎え穏やかに過ごしのことと思います。2024年が皆様にとってより良い年になるようお祈り申し上げます。

今年の干支は「甲辰（きのえたつ）」です。

「甲」は、十干（じっかん）の一番最初の文字で、物事の「はじまり」を、「振」から文字をあてられたのが「辰」で万物が成長し動きが盛んになる様子を意味するそうです。

今までにまいた種が大きく花開く年になるとよいですね。



## 今月号のちょっと気になるお金のコラム

大谷選手の契約金は10年総額7億ドルのプロスポーツ史上最高額でした。ただしそのほとんどが後払い、後払いにするとこんなに大きく価値がかわるのですね。



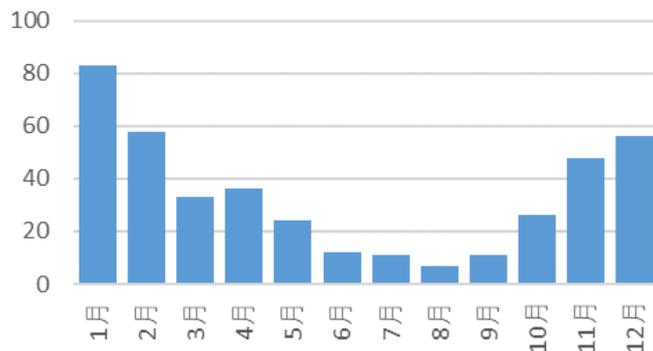
1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店  
〒543-0018大阪府天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階  
電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

## この時期ヒートショックに注意しましょう

消費者庁の「高齢者の事故に関するデータとアドバイス等」によると令和3年に家庭の浴室で亡くなった高齢者は5097人で交通事故の2150人を大きく上回っています。

この時期、特に高齢のご家族がいる方に注意していただきたいのがヒートショックによる浴室での「溺死・溺水」です。下表は東京消防庁管内における高齢者の溺れる事故による月別救急搬送数（令和3年）ですが11月から2月の寒い時期に搬送数が多くなっています。



冬場の入浴は暖かい室内から温度が低い脱衣所で衣服を脱ぎ、暖かい風呂に入るといった温度変化によりヒートショックになりやすいといわれています。

脱衣所を温める、入浴前に同居者に声をかける、高温長湯を避ける、などによりヒートショックによる事故が起こらないようにしましょう。

## ちょっと気になるお金のコラム

### 大谷選手 7億ドルの史上最高額の超大型契約

先月は大谷選手のプロスポーツ史上最高額の契約が話題になりましたね。

10年総額7億ドル。1ドル145円で計算すると1015億円と桁外れの金額です。ちなみに日本プロ野球選手会の調査によると2023年の支配下選手714人の年棒の合計は319億円なので大谷選手一人で日本の全選手の年棒を3年間まかなえることになります。

伝えられている契約内容によると7億ドルを一度に受け取るわけではなく、以下のような分割払いになるようです。

		万ドル	
2024年	200	2024年	6,800
2025年	200	2035年	6,800
2026年	200	2036年	6,800
2027年	200	2037年	6,800
2028年	200	2038年	6,800
2029年	200	2039年	6,800
2030年	200	2040年	6,800
2031年	200	2041年	6,800
2032年	200	2042年	6,800
2033年	200	2043年	6,800
2,000		68,000	

### 後払いの7億ドルの現在価値は？

今の100万円と10年後の100万円では同じ100万円でも金利や物価の状況により価値が異なってきます。

例えば金利が1%の場合、今の100万円は1年後に101万円に、2年後には102.01万円に、と殖えていき10年後には110.5万円になります。反対に10年後の100万円は1%ずつ割り引き現在の価値にすると90.5万円になります。

つまり同じ100万円でも今の100万円の方が価値が高いことになります。

同じように大谷選手の7億ドルを現在の価値に引き直すとうなるか計算してみましょう。

6億8000万ドルを10年据え置き、その後10年かけて毎年6800万ドル支払う契約です。金利はアメリカの10年国債の利回り4%で計算します。

厳密には2033年の200万ドルは現在の・・・、2032年の200万ドルは現在の・・・、と計算しますが、計算を単純にするために10年分の年棒2000万ドルは割引かずに、10年後からの6億8000万ドルの分割払いについて計算してみます。

### 6800万ドルを10年間支払う為の原資は約5億5100万ドル

5億5100万ドルに4%の利息が付き、そこから6800万ドル取崩す、残りに4%の利息が付き、そこから6800万ドル取崩す、を10年間繰り返すと原資の5億5100万ドルがちょうどなくなります。

つまり2034年時に必要なのは6億8000万ドルではなく5億5100万ドルということになります。

では、2034年に5億5100万ドルになっているためには今いくら必要でしょうか？

約3億7260万ドルあれば4%複利で10年後には約5億5100万ドルになる計算です。契約総額は7億ドルですが実際に球団が今準備しなければならない金額は随分と少なくなることがわかります。

もし仮にこの20年がインフレ傾向だったり金利が高くなったりすると10年7億ドルの後払い契約の現在価値はより小さくなります。大谷選手はそれで困ることはないと思いますが私たちの老後資金準備ではお金の価値の変化も考慮して準備をしておく必要がありますね。

